

すてっぷあっぷ

男女共同参画推進市民委員会では、女性も男性も自分の意思で社会に参画する機会が確保され、やさしく支え合い、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現に向けて活動をしています。本情報誌は平成 26 年度の男女共同参画推進市民委員会の活動報告です。是非、ご一読下さい。



男女共同参画推進講演会を開催しました

平成 26 年度裾野市男女共同参画講演会が 11 月 27 日（木）生涯学習センター学習ホールで開催されました。平成 26 年度は区長連合会との共催で、区長、防災会長、民生委員等に呼びかけました。



前回に引き続き、講師には「静岡大学教育学部教授 池田恵子さん」をお招きして『男女共同参画の発想で一歩先

行く防災活動を』のテーマに沿って、3 年前の東日本大震災に基づき、1. 立場や性別による被災経験の違い 2. 多様な人々への配慮の視点 3. 地域での取り組みに向けて男女が共に活動する地域防災の事例等の経験や対策について話していただきました。1 時間 30 分という短い時間でしたが、今後の防災活動に活かせる、とても有意義な講演会だったと思います。（岩）




市議会総務委員との意見交換

大変有意義な意見交換会が出来ました。議員の皆様から、貴重なご意見、アドバイスを頂き今後の活動に大いに参考になりました。議員の皆様には、大変お忙しい中、意見交換会にご出席頂き大変感謝いたします。1 時間半と短い時間ではありましたが、密度の濃い交換会が出来たこと嬉しく思っています。

議員の方からも、活動が良く見えないとのご意見を伺っていました。市民を代表する方からそのようなご意見が出るということを考えれば、一般の市民の多くの人はお見えないと思います。『市民委員会』の活動は、年間 4～5 回のイベント開催では限界があります。今回のような、「総務委員」のかたがたと定期的な意見交換会を開催し、幅広く活動内容を広報していく必要を痛感しています。（高）






沼津市職業講話見学


他市の男女共同参画事業への取り組みを勉強するため、沼津市の沢田小学校で行われた出前授業を見学させていただきました。沼津市では総合的な学習の一環として、将来適切な進路を選択し、職業人として生き生きと生活できるよう、男女共同参画の視点を通して、市職員による講演を小中学校で行っているそうです。

当日は、男性保育士、男性看護師、女性消防士の方々が講師となり、最初に職業当てクイズをし、その後それぞれ職業に就いたきっかけ、仕事内容、職業に就くために必要なこと、やりがい等について子ども達に分かりやすく話していました。和やかな雰囲気の中で、子ども達は気軽に講師の方々やとりとりをし、職業への興味を広げているようでした。このような取り組みは、職業への固定観念を打破するうえでも、男女共同参画の意識を自然に育てるうえでもとても意義深いものだと感じました。今後裾野市でもこのような事業を進めていくべきだと思います。(安)




研修 (『平成 26 年度男女共同参画社会づくりに向けての全国会議』への参加)

市民委員の研修を目的に、平成 26 年 6 月 27 日、内閣府主催の『平成 26 年度 男女共同参画社会づくりに向けての全国会議』(サブタイトル; 女性と男性で輝く社会へ)に参加しました。会場には数百名の参加者が集いましたが、やはり女性の参加者が多く見受けられました。内容は、基調講演 2 題(森まさこ内閣府担当大臣およびブルース・ミラー オーストラリア駐日大使)に続き、パネルディスカッションが行われ、大手企業の経営者お二方(社内における男女共同参画の推進実績を持つ)、某コンビニの女性社員(“輝ける女性“の代表)と NPO 法人代表(ワークライフバランスのコンサルタント)と多士済々で、それぞれの実績紹介やそれらを達成した過程など、私たち市民委員にとって有益な時間を過ごさせていただきました。これらの話が、私たちの活動を支える基底になったことは間違いありません。(精)



会長からひとこと (会長 勝又精治)

「すてっぷあっぷ」の編集に当たり、任期二年間を振り返ると、多くの新しいテーマにチャレンジしたことで、急に視界が広がったように感じます。また、今年度の市民委員の活動が年初の計画通り実施できたことを委員全員と喜び、かつ各委員に感謝いたします。男女共同参画の輪が更に広がることを期待したいと思います。



委員からひとこと

- ・地道に社会にうったえ続けることの大切さを学びました。
- ・日頃経験できない多くのことを学び、新しい出会いを得たことに感謝します。
- ・個々人の人権を尊重することの重要性を改めて感じました。
- ・自分の意識が変わりました。
- ・“男女共同参画”を学び、それを市民に伝えることの難しさを実感しました。
- ・市民委員としてやるべき方策が他にももっとあったのではないかな。

編集／裾野市男女共同参画推進市民委員会

発行／裾野市地域振興課 (裾野市佐野 1059 番地 TEL995-1874)

